

写真：山王神社大クス
樹齢400～500年以上といわれる2本の大クスが緑陰をつくる。高さ20mを超え、幹囲り6～8m。
原爆で黒焦げとなった幹が大きく裂け、一時生存が危ぶまれたが、その後樹勢を取り戻した。

長崎クスノキプロジェクト

「長崎の過去から未来をみつめる樹々」

「被爆樹木」という木を知っていますか？

原爆の惨禍を耐え抜いた被爆樹木には、それぞれ無言のうちにみなさんに語りかけるストーリーがあります。

被爆の証人であり、「命」や「再生」を象徴する存在である被爆樹木。このプロジェクトを通して、その樹々たちが、「原子雲の下で何が起きたか」そして、「平和とは何か」を改めて考えてもらうきっかけになると考えています。

そのような思いを持って、被爆樹木とともにこのプロジェクトを進めていきます。

被爆樹木ウェブサイト



被爆75周年の節目にスタートした「長崎クスノキプロジェクト」では、被爆樹木を知ってもらうため、新たにウェブサイトを立ち上げます。サイトでは、被爆樹木を紹介する動画やマップを3月中旬に公開する予定です。

被爆樹木の無言の声に耳を傾けてみませんか？ 被爆継承課 ☎ 844-3913